

包括的な学校改善の推進に向けた校長のマネジメント

中核校 北見市立三輪小学校 指定校 北見市立西小学校、北見市立光西中学校

実践前の状況

- ・ 校長が示す学校経営方針について、教職員及び保護者、地域住民との共有が十分ではなかった。
- ・ 従来の検証改善サイクルでは、学校を取り巻く教育課題に十分対応することが難しかった。

実践の概要

- 焦点化を図ったグランドデザインによる学校経営方針の浸透
- ・ 網羅的に示していた従来のグランドデザインのほか、焦点化した簡略版グランドデザインを提示し、学校経営方針とその具現化に向けた手立てについて共通理解を図った。
 - ・ 簡略版グランドデザインは、学校教育目標の達成に向けた山登りをイメージしたデザインとし、他の教育活動に係る指導計画も共通のデザインとすることにより、教職員全員が同じベクトルで教育課題の解決に取り組む意識の醸成を図った。
- 校長による即時的な見取りと発信によるOODAループの確立
- ・ 各学級における授業のほか、校内のあらゆる教育活動の様子を校長や教頭等が写真撮影し、その取組のよさについてコメントを加えながら教職員に周知することにより、観察 状況判断 意思決定 実行のOODAループを確立し、短いサイクルによる教育課題の解決を図った。

実践の充実に向けた取組の工夫

〔校長の取組〕

- ・ 簡略版グランドデザインの作成に当たっては、事前に教頭、主幹教諭、教務主任、研修主任、専科加配教員、事務職員から、学校全体で共有を図るためのよりよい内容やレイアウト等に係る意見を求め、学校の核となる職員がグランドデザインの当事者であることを自覚できるようにした。
- ・ 授業や教育活動のよさを見取り、全教職員に周知する際には、他の教職員への波及効果や学校全体のモチベーションの向上につながるよう、校内の様々な取組のうち、「誰の」「どのような」取組を順に取り上げていくかを工夫した。

〔事務職員及び専科教員の取組〕

- ・ 事務職員を中核とした働き方改革、専科教員が先導的に推進する授業改善について、ゴールイメージと達成に向けた取組を簡略版グランドデザインと同様のレイアウトで作成することにより、全教職員が、あらゆる教育活動を教育目標の達成に向けた取組であると意識できるようにした。

成果（ ）と今後の課題（ ）

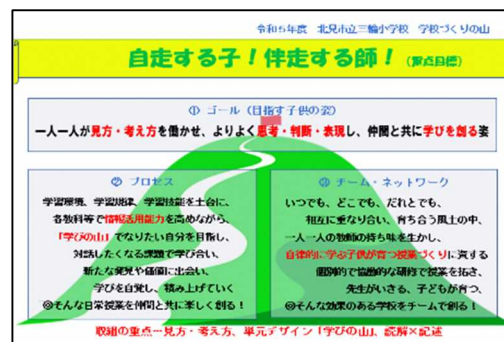
グランドデザインの焦点化と汎用性の高いレイアウトによる提示により、様々な教育活動が学校の教育目標の達成に資するものとなり、全教職員のベクトルをそろえることができた。

〔学校評価（教職員）の「教育目標の達成に向け、学校が一体となって教育活動を展開することができた」の項目について、肯定的な評価が増加した。（R4：72% R5：87%）〕

校長による即時的な見取りと評価により、短いスパンによる学校改善を図ることができた。

〔学校評価（教職員）の「子どもの状況を把握した上で、方向付けをして、教育活動を軌道修正しながら進めた」の項目について、肯定的な評価が増加した。（R4：68% R5：82%）〕

今後さらに、短いスパンによる学校改善について全教職員が意識できるようにするとともに、OODAループのサイクルを学校組織や学校の経営活動に位置付けていく必要がある。



【焦点化を図ったグランドデザイン】



【校長が撮影した授業のよさ】